

ちゅうりっぷぐみだより

2019年11月 第3号

一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じる季節になりました。色とりどりの落ち葉やどんぐりなど、秋の自然は子ども達にとって宝の山。それらを使って子ども達が想像力豊かに遊べるよう、寒さに負けずに戸外遊びやお散歩などを楽しんでいきたいと思ひます。



上手にできるよ♪



子ども達の大好きなお給食の時間。多少の好き嫌いはあるものの、苦手な物も1口食べてみようとする姿も見られ、残食が少なくなってきました。また、食べ方が上手になり、食べこぼしも減ってきました。

今、頑張っているのはスプーン・フォークを下から持つことです。まだまだ上から持ってしまう子が多いのですが「どうやって持つんだっけ？」と問いかけると「下から〜」「こうだよ」とあちこちから声が聞かれるようになりました。お箸へ移行していく為にとっても大事なことです。習慣づけができるようご家庭でも声かけをしていただければと思います。



Let's なりきり



言葉の数や子ども同士での会話のやりとりもどんどん増え、お部屋の中が賑やかになってきました。遊びの幅も広がり、様々な役になりきって遊んでいます。男の子はブロックで剣や鉄砲を作りヒーローごっこ。お互いに戦うだけでなく保育士にも斬りかかり、「ちゃんと倒れてよ」とダメ出しされ保育士もタジタジです。女の子はぬいぐるみをおんぶしたり、床に寝かせてとんとんしたりと小さなお母さん。タオルをキレイに畳んで「お洗濯したよー」と嬉しそうに見せてくれたりします。最近では保育士になりきって朝の挨拶や日付の確認・手遊びなどをして遊ぶ姿が見られるようになりました。絵本をお友達に向けて開いている姿には（よく見ているなあ）と感心させられます。名前を呼ぶ時には子ども達の名前が全て保育士役の子の名字になってしまう所は可愛くてたまりません。

これからも「〇〇になりたい」「〇〇して遊びたい」と子ども達が伝えてくる言葉に耳を傾け、夢を広げられる保育をしていきたいです。



ばんばん！！



これな〜んだ？

